

「わが村は美しくー北海道」運動 第8回コンクール

帯広ブロック表彰式及び情報交換会を開催しました

平成29年2月24日（金）帯広市市民活動交流センターにおいて、「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール帯広ブロックの表彰式を開催しました。

冒頭で、帯広開発建設部の河畑部長から開催挨拶、続いて、帯広ブロック審査委員長の帯広畜産大学 宗岡准教授からコンクール表彰団体を決定するに至った経緯を述べて頂きました。

今回のコンクールで賞に輝いたのは、優秀賞に『十勝パンを創る会』と『(株) アグリファッシュングループ』の2団体。奨励賞に『帯広農業高等学校 農産加工分会ビネガー班』、『十勝品質事業協同組合』、『士幌高等学校 環境専攻班』、『農と暮らしの委員会』の4団体。活動内容が優れていると評価された計6団体に対し、帯広開発建設部の河畑部長より表彰状が授与されました。



「十勝パンを創る会」の中島会長と河畑部長、4名の審査委員



「(株) アグリファッシュングループ」の橋爪社長と河畑部長、4名の審査委員

表彰式終了後は、前回も行った「ワールド・カフェ」という方式を用いた情報交換会を開催し、十勝管内の参加団体やブロック審査委員など37名が参加しました。

情報交換会では、高校生を交えた4～6人ずつ5グループに分かれ、「とちのちの魅力発信」をテーマに話し合い、30分間のラウンドごとにメンバーチェンジをして2回のラウンドを行いました。

自分たちの活動を紹介しながら、十勝の魅力をどのような手法で発信していくかについて、参加者のそれぞれが日頃より考えていることを、模造紙にイラストやコメントを散りばめながら熱心に語り合いました。ワールドカフェの終了後は互いに名刺交換する方々もおられ、良き交流の場になった事と思われまます。



ワールドカフェというリラックスした形式でとちのちの魅力を思う存分語りました



カシワ林保全の研究成果を掲載した士幌高校のパネルコーナー



高校生からも若者ならではのフレッシュな意見が出されました